

2019年6月18日
Peach Aviation 株式会社

A320neo 用エンジンを選定 ～CFM 社製 LEAP-1A エンジンを新規採用～

- ・ 2020年度より A320neo 8機及び中距離用 A321LR 2機に導入予定
- ・ 従来型エンジンと比較し、15%の燃費改善効果

Peach Aviation 株式会社（以下：Peach、代表取締役 CEO：井上 慎一）は、17日、2020年度から導入予定のエアバス A320neo:8機、中距離用 A321LR:2機、合計10機のエンジンとして、CFM International（以下：CFM社、本社：アメリカ合衆国、社長・CEO：ガエル・メフィスト）製の LEAP-1A エンジンの導入契約を締結しました。



中央左：CFM 社のガエル・メフィスト氏、中央右：Peach 代表取締役 CEO 井上 慎一

フランス・パリ航空ショーの会場にて、CFM社のガエル・メフィスト氏とPeachの井上慎一が出席し、契約締結式を行いました。

今回の契約に関して、Peach 代表取締役 CEO の井上慎一は、「CFM 社の新型エンジンを導入することで、より静かなエンジンでフライトの快適性が向上するとともに、燃料費を含めたオペレーションコストを抑えることができます。Peach は 2019 年度にバニラエアとの統合により事業規模が拡大します。2020 年度から新型エンジンを搭載した新造機でさらに事業規模を拡大し、中距離 LCC 事業にも挑戦していきます」と述べました。

また、CFM 社のガエル・メフィスト社長・CEO は、「我々は、今回 Peach とともに次のステップを

迎えることができ、大変うれしく思います。また LEAP エンジンの Peach 機材への導入をサポートできる事を心待ちにしています。このエンジンがもたらす、業界をリードする燃費性能と環境性能のメリットは、Peach の持続的成長にとって、必ずや重要な資産になると信じています」とコメントしました。

この LEAP-1A エンジンは、従来型より 15%の燃費改善効果を見込み、低騒音で快適性が向上します。また、排出ガス中の窒素酸化物、ならびに二酸化炭素の削減が可能となる最新型のエンジンです。

現在 Peach では、A320ceo に CFM 社製 CFM56 を搭載しており、今回の A320neo と A321LR 向けの LEAP-1A エンジンを含めて、2 機種目の採用となります。

CFM International について

LEAP エンジンは、GE とサフラン・エアクラフト・エンジンの折半出資合弁会社である CFM International の製品です。LEAP エンジンシリーズは、航空史上最も速く販売が伸びており、17,500 基を超える受注と契約があります。CFM については、ウェブサイトの www.cfmaeroengines.com やツイッターの [@CFM_engines](https://twitter.com/CFM_engines) をご覧ください。

Peach について (www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在では関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、那覇空港を拠点空港とし、25 機の機材で、国内線 17 路線と国際線 16 路線に就航しています。1 日あたりの運航便数は約 100 便で、毎日 13,000 人以上のお客様にご利用いただいています。Peach は成田空港を拠点空港とするバニラエアと 2019 年度末をめどに統合し、アジアのリーディング LCC を目指します。